

Der Wind

(風)



もうすぐ

湘南オクトーバーフェスト

申し込み未だの方は急いで
下さい

★ ☆ ☆ ☆ ★ ☆ ☆ ☆ ★ ☆ ★

『ワイマール独日協会一行来訪』

湘南日独協会と姉妹提携のワイマール独日協会一行、パウハウス会長以下23名が次の日程で来訪されます。

11月17日(月) 夕方 藤沢着

18日(火)

9:00 鎌倉市長訪問(一行にはヴォルフ・ワイマール市長が加わっています)

10:00 浄智寺において日本文化体験
香道・茶道・流鏑馬

15:00 高德院鎌倉大仏
見学とお茶の接待

18:00 歓迎・交流会(下記ご参照下さい)

11月19日(水)

9:00 小学校訪問 授業見学

11:00 報国寺見学
終了後東京へ

一行は11月11日大阪へ入り、京都、高野山、金沢等を訪問後、越後湯沢より藤沢に到着の予定です。

ワイマール独日協会歓迎・交流会へのお誘い

日時 11月18日 18:00

会場 湘南クリスタルホテル ポンヌ・チャンス

会費 6,000円

合唱団アムゼルの特別演奏があります

申し込みは、同封の振込用紙(赤色)をご使用の上
11月10日までにお申し込み下さい。

新入会員紹介

敬称略

疋島 直樹

田中 信子

湘南日独協会の活動予定

■ Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語 第22回
「Trinklieder - ビールを飲みながら・・・」

オクトーバーフェストで歌う曲も練習します

日時 9月21日(日) 15:00~16:30

会場 藤沢商工会館 507号会議室

会費 1,000円

■ Schwatzerei am Stammtisch 第3回

日時 9月26日(金) 15:00~17:00

テーマ 「Umwelt - 環境」

会場 藤沢商工会館 506号会議室

会費 1,000円

申込 木原 Tel 0466-28-9150 先着順

■ 9月例会 恒例の湘南オクトーバーフェスト

日時 9月28日(日) 18:00

会場 グランドホテル湘南(例年と同じ)

予約申し込みは先にお送りしました振込用紙でお願いします。
用紙をお持ちでない方は事務局へ至急ご連絡下さい。

■ 「かまくら国際交流フェスティバル2014」参加

日時 10月13日(月・祝) 10:00~15:00

会場 高德院(鎌倉大仏)

ブースを設置し湘南日独協会の活動状況をDVD等を使用紹介、また例年のアルプホルンの楽団ダンケシェーンの演奏もあります。

■ 10月例会 講演会(当初2月の予定が大雪で開催出来ず10月に延期されました)

「織田幹雄は世界人」

1928年アムステルダム・オリンピックの金メダリスト、1965年東京オリンピックでは運営に活躍された織田幹雄氏の口癖であった「世界人」について、子息である当協会会長の織田正雄氏が語ります。

日時 10月26日(日) 14:00~15:30

会場 湘南アカデミア(江ノ電第2ビル7F)

会費 1,000円

講演終了後懇親会(別会費)を予定しています。

<4ページへ続きます>

「再生可能エネルギーについて」 片野俊雄氏

会員 昔農 英夫



片野氏

福島原子力発電所の事故後、これまで原子力に大きく期待していた国のエネルギー基本計画の見直しが行われています。今後、エネルギー需要にどう対処してゆくのかについて関心が高まり、各方面で議論される中、6月の例会は片野俊雄氏による「再生可能エネルギーの再生」とする講演でした。

再生可能エネルギーの“再生”という耳慣れない表現は、いったい何を意味するのかと興味深く話に聞き入った。産業革命以前、すなわち経済活動の規模が未だはるかに小さい時代には人類活動に必要なエネルギーは、ほぼ全て再生可能エネルギー資源により賄われていた。しかし、産業革命で急速に膨らんだエネルギー需要を満たすには再生可能資源に代わって石炭、石油などの化石エネルギー資源への依存に舵をきった。その後、資源枯渇や気候変動の問題が表面化し、化石資源への依存度を減らす動きはすでにあったが、講師によれば、チュニジアの民主化運動に端を発する北アフリカ・中東の政治的混乱の結果引き起こされた石油の供給不安と東日本大震災による福島原子力発電所の事故が契機となり世界中で再生可能エネルギーへ回帰する機運が一気に高まり今日に至っている。この再生可能エネルギーへの依存回帰の動きを片野氏は“再生”と表現されていると理解した。しかしながら現代は人口、産業規模ともに産業革命当時とは比べるべくもなく大きく、これに伴う膨大なエネルギー要求に再生可能エネルギーでどのように、どこまで応えてゆけるかを一緒に考えてみようというのが講演の趣旨で、まさに時宜にかなうテーマでありました。

講演はエネルギーを、供給の安定性、経済性、供給技術の環境への適合性、安全性、持続可能性の5つの観点から俯瞰的に捉えるために準備された多岐にわたる資料スライドの説明から始まりました。使用の形では電力に着目し（1）エネルギー供給の世界と日本の現状、（2）再生可能エネルギーの必要性、（3）再生可能エネルギーの種類と特徴、（4）原子力エネルギー利用にともなう問題点などがあります。特に、講師が取り組んでこられた風力発電を例にあげ、再生可能エネルギーの利点、すなわち、いったん設備を設置すれば燃料はただで得られ、しかも再生可能エネルギーの源は太陽エネルギーであって枯渇とは無縁で、環境に悪影響を与えない点が化石資源と決定的に異なる点と力説された。原子力については、これまで燃料製造、発電所建設、運転などエネルギー利用に目を向けて促進策がとられてきたが、核燃料廃棄物の最終処分について技術的展望が未だ不透明で、安価とされてきたコストにも廃炉費用が十分に考慮されていない等の問題を改めて指摘された。

最後に先進各国の取り組みが紹介され、講演の趣旨である果たして日本が取るべき道は…。残念ながら2時間は紹介された広範な情報を基に議論を進めるには余りにも短すぎた。言えることは、議論を尽くして将来ビジョンを描き施策を促進することですが、エネルギー供給構造の転換には長時間を要するので、短期的には原子力を含め現実的な対応が必要。また、技術の進展を見越して、将来、選択の幅を狭めないためにも技術開発だけはしっかり継続してゆることが肝要と思います。会報にはおよそ不釣り合いとも思える固い内容の報告に終始しましたことをご容赦いただくとして、さて皆様はいかがお考えでしょうか？



講演後の懇親会

お知らせとお願い

湘南日独協会の活動予定に記載の通り、かまくら国際交流フェスティバルが10月13日に、ふじさわ国際交流フェスティバルが、11月9日に開催され、ブースを設置し、日頃の国際交流活動状況を今年も広くPRします。藤沢ではビールの販売も検討されています。このような催しにお手伝いをして頂ける方を募集しています。理事または事務局へご連絡下さい。

7月例会 講演会

「ドイツの劇場と日本のオペラ事情」

梶井龍太郎氏

会員 大久保 明



梶井氏

東ドイツの時代から統一ドイツ成立後までドイツのオペラハウスでテノール歌手として活躍され、帰国後は演奏のみならず指導者として、さらに現在は東海大学芸術学科教授として幅広い活動をしておられる、梶井先生のご講演は大変興味深いまた刺激的な内容でした。

先生の研究テーマの一つは劇場に関する研究（劇場学）があり欧米、特にドイツの劇場の形態と運営を学び、日本の劇場の現状を考察し両者を比較することで日本の劇場運営に有効な提案をする事を目標としている。

ドイツは100以上の劇場を持つ世界一の劇場大国（次点はアメリカ40）で、劇場にはSからCまでのランクがある。アメリカ等のスポンサー、広告主体の運営ではなく、自治体の運営による公共劇場、公的助成金で運営される民間劇場があり、所謂税金（補助金）による運営であること、具体的にはチケット1枚に約120ユーロ（約15,000円）の補助があり運営されているとのことでした。

一方日本ではドイツの劇場（オペラ、バレエ、演劇が可能）と同様な形態の劇場が少なく比較するのは難しいが、それに近い新国立劇場（東京初台）を考えると、多額の事業費が掛けられているもののその1/3程が管理費、外国人キャスト主体による年間3～5演目に疑問を感じざるを得ない状況あり、ドイツのオペラハウスとは比較出来ない。

ドイツ人は町を作る時、先ず病院、次に学校そして劇場を建てると言われるほど、劇場が市民生活に重要な役割を担っている。文化、教育、社交の中心としてドイツでは都市の顔となっている。そのためには、観客動員の施策が進められ、若者の観客が増加している（イタリアでは観客の高齢化が顕著と言う）。

オペラの演出でも大きく変化してきている。一時代前はオペラ歌手と言えば声が重視され、太った歌手が若者の恋物語を演じていたが、近年は俳優並みの美貌と容姿で（勿論美声）、リアルな演技をしながら歌うようになっている。つまり、オペラも演劇も気取ったものではなくエンターテインメントとなってきている（この現況がDVDによる紹介あり）。

先の、ワールドカップではドイツが優勝したがこの勝因の一つは常に新たな挑戦にあるようだ、オペラや演劇の世界も同様に思われる。もっと日本はドイツへ目を向ける必要があるようだ。

ドイツの歌劇場の話の中には、先生と智子先生のドイツの歌劇場での舞台写真も公開頂き嬉しく思いました。旧東ドイツ（共産国）と資本主義国ドイツ（あるいは旧西ドイツ）との違い、さらに1989年のベルリンの壁の崩壊によ

る大きな環境の変化を現地で経験から語られました。講演終わり近く、現在の日本の大学ではドイツ語のみならず、ヨーロッパの言語を履修する学生は残念ながら大きく減少している現状を話されました。

なお、会場には梶井先生とは旧知の仲の志賀トニオ氏（会員志賀さんご夫妻の二男）が参加され、現在ブレーマーハーフェン歌劇場で指揮者・コレペティートルとして活躍しておられることから、最新の情報も提供されました。トニオさんは、懇親会へも参加され多くの皆さんと話が弾みました。来年7月休暇を日本で過ごされることになれば、湘南日独協会での講演を快諾して頂きました。

ドイツ人の日常生活に深く関わっているドイツのオペラと日本でのオペラを単純に比較は出来ないが、文化・芸術政策が問われているのではないかと思います。箱物行政と揶揄される現状の改善の為には様々な意識改革が必要であることを再認識させられた講演会でした。



会場



梶井氏と志賀トニオ氏



懇親会

活動予定

日時 10月17日(金) 15:00~17:00
会場 藤沢商工会館 507号会議室
会費 1,000円
申込 木原理事 Tel 0466-28-9150
先着順

日時 10月19日(日) 15:00~16:30
会場 藤沢商会館 506号会議室
会費 1,000円

日時 11月9日(日)
会場 藤沢駅北口サンパール広場
ブースを設置予定です

日時 11月16日(日) 15:00~16:30
会場 藤沢商工会館 507号会議室
会費 1,000円

★☆☆★★★☆☆★★★★☆★★★★★☆☆★★★☆☆



Schwatzerei am Stammtisch
の会場の様子

[illegible]

Singen Wir
Zusammen の
カラオケルーム
で暑気払い
右上は指導する
ガルデ先生と木
原理事



テキスト

初級	1	Schritte International 1 (5 課より)
初級	2	Modelle 2 (10 課より)
中級		Schritte International

中川純子 Arndt-Olaf Friess

初級	1	13:25~14:55	藤沢商工会館
初級	2	11:40~13:10	506または
中級		10:00~11:30	507会議室

原書講読 Hermann Hesse "Augustus"

松野義明

10:00~11:30 藤沢商工会館5階
ミーティングルーム

受講料は各クラス共46,000円、湘南日独協会会員は5,000円の割引があります。今回初めて受講される方に限り受講料日割り計算が適用されます。また、2つ以上のコースを同時に受講される場合は受講料は3割引きとなります。

お問合せ：小田武司理事 Tel/Fax 0467-38-0920

E-mail ZVP03572@niftv.com

○恒例の湘南オクトーバーフェスト、鎌倉・藤沢の国際交流フェスティバルへの参加、そしてワイマールの独日協会一行の歓迎行事が続き事務局、各理事も多忙を極めていきます。会員の皆様の積極的参加を期待したいと思います。

○左に掲載しています、ドイツ人と日本人が
おしゃべりを楽しむスタムティッシュ、歌で
楽しむドイツ語もメンバーが増え皆さん楽
しんでいます。一度覗いてみようとお考え
の方遠慮なくご参加下さい。

○今年の望年会は従来とは一寸と異なる趣向での開催が検討されています。次号にお知らせする予定です。楽しみにして下さい。

○秋本番、健康で楽しくお過ごしになれますよう、お祈りしています。

(大久保)